

# 名勝 おくのほそ道の風景地

スマホで  
チェック!



高館 (岩手県平泉町)



金鶏山 (岩手県平泉町)



武隈の松 (宮城県岩沼市)



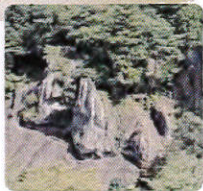
象潟及び汐越 (秋田県にかほ市)



親しらず (新潟県糸魚川市)



有磯海 (富山県高岡市)



那谷寺境内 (寄石) (石川県小松市)



大垣船町川湊 (岐阜県大垣市)



黒塚の岩屋 (福島県二本松市)



殺生石 (栃木県那須町)



草加松原 (埼玉県草加市)



ガンマンガ淵 (慈雲寺境内) (栃木県日光市)



八幡宮 (那須神社境内) (栃木県大田原市)

## 松尾芭蕉〔寛永21年(1644)～元禄7年(1694)〕

伊賀上野(現・三重県伊賀市)出身。蕉風という芸術性の高い句風を確立した俳諧師。後世において「旅の詩人」や「俳聖」と呼ばれる。現在、芭蕉の句と認定できるものは1000句ほどある。

### 参加特典

#### 参加賞

5か所以上の名勝地を巡った方

全員に奥の細道むすびの地記念館受付にて粗品(絵筆書セット)をプレゼント

#### ダブルチャンス賞

5か所以上の名勝地を巡り、応募した方

抽選で30人に関係市町の特産品(3,000円相当)をプレゼント

平成26年度応募期限:平成27年2月末

応募場所:奥の細道むすびの地記念館受付

#### 踏破賞

全ての名勝地を巡った方

全員に奥の細道むすびの地記念館受付にて大垣市特産品(1,000円相当)をプレゼント

松尾芭蕉は、古歌や故事で知られた名所・旧跡の地を訪ねて、陸奥・北陸路を旅し、紀行文学の傑作である『奥の細道』を完成させました。芭蕉が『奥の細道』に書きとめた風景は、近世・近代を通じて人々の風景観に影響を与え続け、今なお往時の雰囲気と遺風を伝えています。これらは一体の風致景観であるとして、平成26年(2014)に国の名勝に指定されました。

なお、「おくのほそ道」の表記は、諸本のひとつである西村本の芭蕉自筆題簽に基づいています。